

家庭学習の手引き

○学校での学習と家庭学習

山手中学校では、「学び合い」のある授業を取り入れています。これは、自分の考えや気づきを出し合い、仲間と関わる中で多様な考え方に会い、自分の考えを広げたり深めたりする学習です。学校での学習は、仲間や先生とともに作り出していく学習といえるでしょう。学力とともにコミュニケーション能力を向上させることが期待できます。

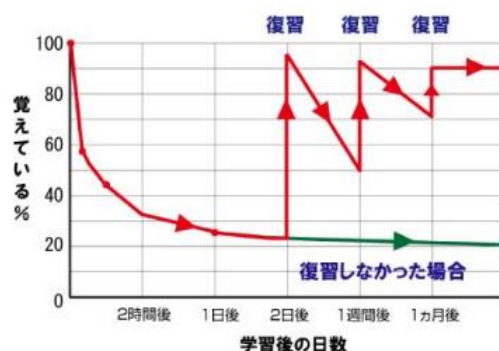
これに対して、家庭学習は「自主的な学習」です。授業で学習する内容をより深く理解するために予習をしたり、学習した内容を定着させるために復習したりするなど、自らの力で学習を進めていきます。時間割やチャイムのない家庭で、自分の意志で学習を進めるには、習慣化させることが何よりも大切です。計画的に学習に励みましょう。

○家庭学習が大切な理由

右のグラフは、心理学者ヘルマン・エビングハウスによって導かれた忘却曲線というものです。このグラフから、1時間後には56%、1日後には約74%の内容は忘れてしまうことがわかります。このことは学習についても同様に言えます。暗記した内容の約74%を、その翌日には忘れてしまうということです。

しかし、数日後に復習を繰り返すことで、記憶が定着することもわかります。次のように復習を行うと効果的です。

- ① その日のうちに復習する。さらに翌日、もう一度復習する。
- ② 音読する。手書きする。自分でまとめ直すことも有効。
- ③ 関連付けて記憶する。流れも含めて理解する。意味を納得する。



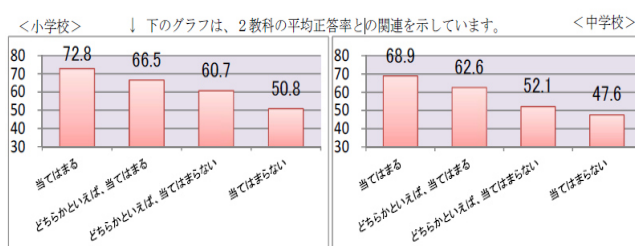
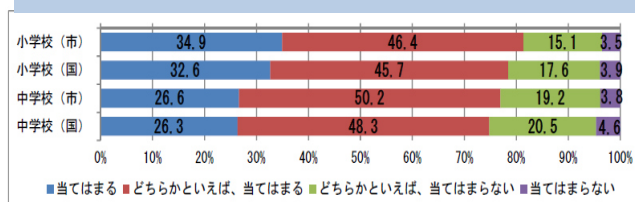
○家庭学習と学力の関係

令和3年度の中学3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査によると、全国と四日市市の子どもの学力について、次のことがわかります。

右のグラフは、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか」という質問に対する回答と2教科の平均正答率との関連を示しています。学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直していると、平均正答率が高い傾向が見られます。そのため、一定の学習時間が確保できる家庭学習を継続的に行うことが大切だとよくわかります。

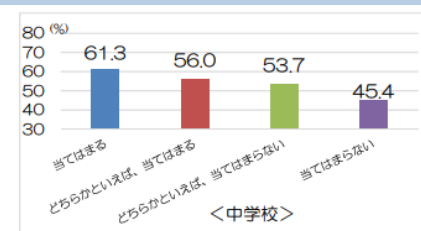
他に、「テレビゲームをしたり、携帯電話・スマートフォンでの通話・メール・インターネットをしたりする時間が短い」「朝食を毎日食べたり、同じくらいの時刻に寝たり起きたりする」など基本的な生活習慣をしっかりとし身に付けること、「読書をする習慣がある」こと、「新聞を読む」ことなどが、学力向上につながる結果も出ています。

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか



引用：令和3年度四日市市の子どもの学力・学習状況(四日市市教育委員会)

「読書は好きか」という質問に対する回答ごとの3教科(国語・数学・理科)の平均正答率



引用：令和4年度四日市市の子どもの学力・学習状況(四日市市教育委員会)

○家庭学習の進め方

【1】生活リズムを確立しよう。

下校後の時間をうまく使えるようになることが、第1歩です。帰宅してから寝るまでの数時間を、有効に使えるよう、生活リズムをきちんと確立しましょう。家庭での日課を立てるのも有効でしょう。お家の人の協力も不可欠ですので、話し合っただけで決められるといいですね。

【2】学習環境を整えよう。

「いざ始めよう」というときに、「部屋が散らかっていて勉強する場所がない」「必要な教科書やノートがない」「テレビがついていて集中できない」「携帯やスマホ、マンガなどが近くにある」などの環境では、効率のよい学習は進められません。スムーズに勉強が始められるよう、普段から学習環境を整えておく必要があります。

【3】まずは宿題、そして復習・予習をしましょう。

まずは宿題をきちんと行います。宿題をしながら授業内容を思い出し、要点を整理しておくことも大切です。そのためにも、ノートには板書内容を写すだけでなく、考えたことや疑問に思ったことなどをどんどん書き込んでいくとよいでしょう。また、授業中に十分理解できなかったことがあれば、教科書やノートを見直して理解を深めましょう。タブレットでデジタル教材などを活用し、自らの疑問について深く調べたり、自分に合った進度で学習を進めたりすることも有効です。また、予習を行うことで、授業中の理解がより深まるとも言われています。漢字練習や英単語の意味調べだけでなく、教科書を一度読んでおくことで、どんな内容を学習するかを見通しておくことも有効です。

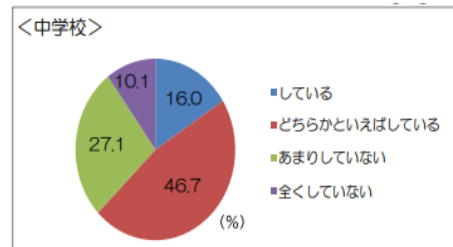
学習時間の目安としては、1・2年生では1～2時間、3年生では2～3時間くらい行えるとよいでしょう。

【4】テストを目安として、計画的に進めましょう。

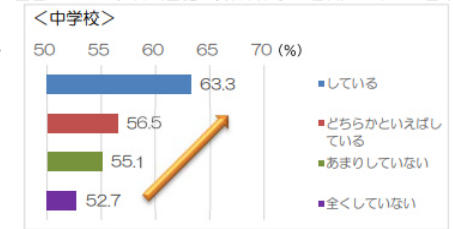
テスト前に集中して勉強することも大切ですが、普段から計画的に進めることで、より効果的な学習につながられます。テスト期間前に提出物を終え、テスト期間中は理解が不十分な内容や誤答する可能性がある箇所を中心に勉強すれば、学習効率はとても上がります。定期テストの日程を把握し、計画的に学習を進めましょう。

また、右の表は「家で自分で計画を立てて勉強しているか」という質問に対する回答と3教科の平均正答率との関連を示しています（令和4年度全国学力・学習状況調査）。普段から計画を立てて勉強をしていると、平均正答率が高い傾向が見られます。学習の計画を立てるということは、「自分で学習する内容を決める。」ということです。「自分に必要な課題は何かを考え、どのように学習を進めるか見通しを持ち、自ら進んで取り組むこと」が大切です。家庭学習において、学習用のタブレット端末で「ドリルパーク」「こにゅうどうくん学びの部屋」「学んでE-net」を活用することで、自分の学習を選びやすくなります。

家で自分で計画を立てて勉強しているか
(学校の授業の予習や復習を含む)



回答ごとの3教科（国語・算数/数学・理科）の平均正答率



引用：令和4年度四日市市の子どもの学力・学習状況
(四日市市教育委員会)

「当たり前」の事を「当たり前」に、いわゆる「凡事徹底」も学力向上につながります。

- ・あいさつをする
- ・時間を守る
- ・ルールを守る
- ・相手を思いやる
- ・人の話を聞く
- ・返事をする
- ・掃除をする
- ・身だしなみを整える
- ・悪口を言わない
- ・いじめをしない
- ・約束を守る
- ・早寝早起きをする
- ・靴を並べる
- ・整理整頓をする
- ・お手伝いをする
- ・何事にも誠実に取り組む
- ・責任を持って最後まで取り組む
- ・「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える 等